

2021 年度近畿本部化学部会活動報告と 2022 年度計画（案）

近畿本部化学部会長 伊藤雄二

1. 2021 年度活動報告

昨年度は、ワクチン普及による感染症収束の期待と変異株登場に伴う活動自粛とが交互に繰り返される事態にともない、今年度も昨年同様に、TW（テレワーク）式併用型の総会を開催します。ここに関係各位に感謝いたします。

感染症収束に向けた化学技術力の発揮を継続テーマに、また**物質エネルギーへの化学技術力の発信**を新規テーマにした企画・運営の活動方針にして、感染症関連の講演会テーマ 3 件、カーボンリサイクルの勉強会 1 件の企画・運営に努めました。うち、10 月講演会は、特別に近畿本部のご協力も得られまして、講演後のパネル討議に加えて近畿本部共有メールにて参加者募集の実施ができました。

主な事業活動である CPD 講演会・見学会・勉強会は、開催回数は 9 回と前年度より 2 回増加し、参加者数は 145 名（昨年比 47 名増）し、テレワーク（TW）率は 85%（昨年度 60%）でした。また見学会（1 回）は、見学先の意向を重視した web 勉強会・事例検討会形式とし、感染防止策として関係者を除く参加者は全員在宅として、web 展示会の視聴となりました。

協賛団体（3 団体）様のご協力のもとで 2018 年度に立ち上げた化学装置に係る設備管理の「勉強会」（c-SKG 会）は、年 3 回（昨年比 1 回減）の開催ができ、参加者数は 42 名（昨年比 1 名減）、TW 率 100% でした。

化学物質管理研究会近畿支部（化学部会協力）での web 勉強会（統括本部主催行事）は、1 回分（出席者 4 名）を除き、web 中継の実施はできませんでした。

幹事会の取組みは、部会活動の充実を図る活動方針のもとに、

1) 部会事業の充実に向け企画・運営を強化

企画では、担当幹事のグループ化とデジタル技術支援活動の強化

会計では、部会長兼務を継続し、幹事 2 名（副と補佐）体制

報告では、業務監査役を創設し、HP 掲載前での点検体制の確立

2) 協会・団体に発信し社会貢献に寄与

「感染症収束に向けた技術力の発揮」企業団体様から講師 3 名の達成

「web 見学会」の開催に向けて見学先のデジタル技術への協力・支援

3) 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実

化学部会主催行事に近畿本部委員長 4 名をパネル討議に出席の実現

近畿本部業務活性化委員会の委員に、化学部会から 1 名推挙

近畿本部地域連携強化委員会の委員に、化学部会から 1 名推挙

2. 2021年度会計収支報告（審議）

- ・ 会計監査報告、2021 年度会計収支報告

3. 2022年度活動方針（案）

- ・ 部会事業の充実に向け企画・運営を強化
- ・ 協会・団体等に発信し社会貢献に寄与
- ・ 近畿本部等と連携し部会の基盤を充実
- ・ 講演企画テーマ
 - * 技術士会全国大会（奈良）行事への参画（新規）
 - * 物質エネルギーへの化学技術力の発信（継続）

4. 2022年度幹事会メンバー一覧（審議）

- | | | |
|--------|----------------------|-----------------|
| ・伊藤雄二 | 部会長（兼）会計幹事
近畿本部幹事 | 統括本部化学部会幹事 |
| ・藤橋雅尚 | 報告・監修担当 | |
| ・和田信之 | 企画担当（兼）副会計幹事 | |
| ・久保田正博 | 企画担当 | |
| ・橋本隆幸 | 報告・監修担当 | |
| ・齋藤俊 | 企画担当 | 近畿本部業務活性化委員 |
| ・高岡直樹 | 企画担当（兼）副会計幹事 | M O C S 研近畿支部幹事 |
| ・末吉俊信 | 顧問（委嘱）業務監査役 | |
| ・喜多雅巳 | 会計監査 | |
| 《復任》 | | |
| ・堂動剛 | 全国大会（奈良）担当 | |
| 《新任》 | | |
| ・出口義国 | 企画担当 | 近畿本部地域連携強化委員 |
| ・中田将裕 | 企画担当 | |
| 《退任》 | | |
| ・末利鍔意 | 特別顧問 | 拡大幹事 |
| ・伊藤博 | 企画担当 | 拡大幹事 |

以上